



管内でアメリカ腐蛆病が発生しました！

7月31日、八戸市内の蜂場でアメリカ腐蛆病が発生しました。

発生蜂群では、幼虫に異常がみられるとの通報により、家畜保健衛生所で検査を行ったところ腐蛆病と診断されました。

普段から蜂群をよく観察し、異常がみられたら家畜保健衛生所までお知らせください。

○アメリカ腐蛆病とは

細菌によりみつばちの幼虫(蛆)が腐る病気で、家畜伝染病予防法に指定される家畜伝染病です。感染蜂群には以下の様な異常がみられます。

- ⚠ 成蜂数が減少する。
- ⚠ 有蓋蜂児が死亡し、巣房の蓋の陥没がみられる。
- ⚠ 巣箱から独特の臭い(にかわ臭・納豆臭)がする。
- ⚠ 死亡し、溶解した幼虫は粘稠性があり、ピンセット等で触れると糸を引く。死亡後時間が経ったものは褐色になる。

死亡し糸を引く蜂児



(引用：青森県病性鑑定手順書)

○もう1つの腐蛆病：ヨーロッパ腐蛆病

アメリカ腐蛆病と同じく法定伝染病ですが、症状はやや異なります。

- ⚠ 主に無蓋の若い蜂児が死亡する。
- ⚠ 巣箱から発酵臭、酸っぱい臭いがする。
- ⚠ 死亡蜂児には粘稠性がない。
- ⚠ 時に有蓋蜂児が死亡し、アメリカ腐蛆病と似た症状になることもある。

腐蛆病は法律で届出が義務づけられている治療できない病気です。疑わしい症状を発見した場合は、ただちに家畜保健衛生所まで通報してください。

三八地域県民局地域農林水産部 八戸家畜保健衛生所

TEL：0178-27-7415 FAX：0178-27-7418

土日祝祭日の場合は、家保携帯 090-7069-7714